



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社パリミキホールディングス

コード番号 7455 URL <https://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 柳沼 雅紀 TEL 03-6432-0732

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	39,532	2.1	1,743	35.2	1,906	15.0	1,146	18.7
	38,726	2.2	1,289	△36.1	1,657	△32.3	965	△44.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,758百万円 (141.7%) 2025年3月期第3四半期 727百万円 (△65.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 20.33	円 銭 20.19
2025年3月期第3四半期	17.73	17.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 43,674	百万円 34,452	% 77.7	円 銭 585.53
2025年3月期	42,985	32,772	74.7	571.89

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 33,948百万円 2025年3月期 32,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 8.00
2026年3月期	—	4.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				0.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 51,451	% 1.3	百万円 1,548	% 11.9	百万円 1,748	% 2.8	百万円 1,005	% 13.3	円 銭 17.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	57,988,874株	2025年3月期	56,127,974株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	9,553株	2025年3月期	7,994株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	56,380,870株	2025年3月期 3Q	54,471,726株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における国内の経済状況は、米国の関税政策や国内の物価高騰に対する警戒感は残るもの、景況感は悪くなく企業業績やマインドは全体的に堅調さを維持したものと見られています。また、人手不足の状況は依然続いており、それに伴う賃上げの影響から個人消費も回復傾向にありますが、日中関係の悪化を受け、中国との人流や物流の鈍化が懸念される状況となっています。

小売業界におきましても改善基調であり、インバウンド需要も徐々に伸びていますが、中国政府が日本への渡航自粛を求めていることによるインバウンド客減少の影響は出始めているものと見られています。

このような状況のもと、当社グループの国内事業におきましては、主要商品であります眼鏡におきましては、単価のアップが下支えをしており、サングラス売上、補聴器売上も堅調に推移したため、売上高は前年を上回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費のアップや物価高騰の影響でさまざまな費用が増加しておりますが、売上高の増加が貢献し、営業利益は前年を上回る結果となっています。

海外事業におきましては、不採算店を整理するなど利益改善に取り組んでいるところですが、中国につきましては、国内景気が悪い状況が続いていることもあって、海外法人合計の売上高は前年を下回る結果となっています。また販売費及び一般管理費は増加傾向にありますが、不採算店の整理などの利益改善の効果も出始めており、海外法人合計の営業損失額は減少しています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高39,532百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益1,743百万円（前年同期比35.2%増）、経常利益1,906百万円（前年同期比15.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,146百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[日本事業]

主要子会社の㈱パリミキにおきましては、ほぼすべての商品売上が前年を上回っており、特に眼鏡一組単価は、前年同期間と比較して2,000円ほどアップし、堅調に上向いていることが貢献しています。また、インバウンド需要の増加に伴いサングラス売上も堅調であることやコンサルティングが重要である補聴器につきましても売上を伸ばしています。

また、移転統合を伴う出店、改装などは、建材、工事費用などの高騰もあり、投資回収について慎重に再検討するなど精査して進めており、当第3四半期連結累計期間では、新店（移転を含む）数は8店舗となっておりますが、当期末までの出店数は当初の計画であります10店舗を下回り、このまま7店舗で着地する見込みとなっています。

販売費及び一般管理費につきましては、『眼を救え』プロジェクトの推進に伴うデジタルマーケティング関連費用を含む広告宣伝費が前年より増えていますが、計画内で推移しており、人件費につきましても増加している状態となっています。また、物価高に伴う様々なコストが高騰していることや、キャッシュレス決済の増加に伴う手数料の増加などもあり、販売費及び一般管理費合計では前年を上回りましたが、売上高の増加により、費用の増加は吸収できたため、営業利益は前年を上回る結果となっています。

また、主に百貨店に展開しております㈱金鳳堂におきましては、眼鏡一組単価が上向いていることが牽引し売上高は前年を上回って推移しました。また、インバウンド需要も堅調に推移しておりましたが、中国からのインバウンド顧客減少の影響が出てきている店舗もあり、今後の状況が懸念されるところです。

この結果、国内の売上高は35,300百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は2,123百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

[海外事業]

海外子会社におきましては、物価高に伴い諸経費が増加していることや人件費高騰の影響は各国に及んでおり、利益の出にくい状況となっています。中国法人におきましては国内の景気が回復していない中で、不採算店の整理を進めており、売上高は前年を下回りましたが、営業損失額は減少しています。また東南アジアの法人は堅調に利益を出しており、海外法人合計でも営業損失は縮小する結果となっています。

この結果、海外の売上高は4,374百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失は379百万円（前年同四半期はセグメント損失391百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産、負債および純資産の状況)

総資産は前連結会計年度末に比べ688百万円増加して43,674百万円となりました。これは主に流動資産における商品及び製品が447百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ991百万円減少して9,222百万円となりました。これは主に流動負債における支払手形及び買掛金が273百万円、未払金が196百万円増加しましたが、短期借入金が1,672百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ1,679百万円増加して34,452百万円となりました。これは主に資本金が311百万円、資本剰余金が294百万円、利益剰余金が695百万円、その他有価証券評価差額金が356百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表しました通期連結業績予想につきまして、修正を行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況ならびに世界情勢の変化等により、修正が必要と判断された場合は速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	13,612	13,231
受取手形及び売掛金	2,999	3,407
商品及び製品	8,414	8,862
原材料及び貯蔵品	573	629
その他	1,555	1,561
貸倒引当金	△14	△23
流动資産合計	27,141	27,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,174	4,145
機械及び装置（純額）	70	63
工具、器具及び備品（純額）	1,340	1,424
土地	551	551
建設仮勘定	24	11
その他（純額）	13	35
有形固定資産合計	6,175	6,231
無形固定資産	483	394
投資その他の資産		
投資有価証券	2,763	3,034
敷金及び保証金	4,358	4,319
建設協力金	372	355
繰延税金資産	297	269
その他	1,572	1,569
貸倒引当金	△74	△66
関係会社投資損失引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	9,185	9,379
固定資産合計	15,844	16,005
資産合計	42,985	43,674

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	1,384	1,658
短期借入金	1,755	82
1年内返済予定の長期借入金	40	40
未払金	2,538	2,734
未払法人税等	386	547
契约負債	773	814
賞与引当金	354	211
店舗閉鎖損失引当金	2	—
その他	1,420	1,526
流动負債合計	8,655	7,616
固定負債		
长期借入金	129	99
退職給付に係る負債	56	58
繰延税金負債	449	524
資産除去債務	584	575
その他	337	347
固定負債合計	1,557	1,605
負債合計	10,213	9,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,913	6,224
資本剰余金	6,821	7,116
利益剰余金	16,739	17,434
自己株式	△12	△13
株主資本合計	29,461	30,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522	878
為替換算調整勘定	2,111	2,307
その他の包括利益累計額合計	2,633	3,186
新株予約権	142	6
非支配株主持分	535	497
純資産合計	32,772	34,452
負債純資産合計	42,985	43,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	38,726	39,532
売上原価	12,486	12,521
売上総利益	26,239	27,011
販売費及び一般管理費	24,949	25,267
営業利益	1,289	1,743
営業外収益		
受取利息	98	94
為替差益	187	—
投資有価証券売却益	46	15
受取手数料	8	21
貯蔵品売却益	3	20
協賛金収入	17	10
受取補償金	—	63
その他	122	126
営業外収益合計	484	351
営業外費用		
支払利息	11	22
投資有価証券評価損	—	36
為替差損	—	46
支払手数料	3	2
その他	101	80
営業外費用合計	116	188
経常利益	1,657	1,906
特別利益		
固定資産売却益	1	0
新株予約権戻入益	39	62
金地金売却益	—	31
特別利益合計	40	94
特別損失		
固定資産除売却損	31	40
減損損失	49	70
店舗解約損失金	3	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1	—
その他	3	0
特別損失合計	90	111
税金等調整前四半期純利益	1,607	1,889
法人税等	612	720
四半期純利益	995	1,169
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	965	1,146

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	995	1,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	356
為替換算調整勘定	△261	232
その他の包括利益合計	△267	589
四半期包括利益	727	1,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	692	1,699
非支配株主に係る四半期包括利益	34	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,286	4,439	38,726	—	38,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59	78	137	△137	—
計	34,345	4,518	38,864	△137	38,726
セグメント利益又は損失 (△)	1,680	△391	1,289	0	1,289

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて46百万円、「海外」セグメントにおいて3百万円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において49百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,228	4,303	39,532	—	39,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71	71	142	△142	—
計	35,300	4,374	39,674	△142	39,532
セグメント利益又は損失 (△)	2,123	△379	1,743	0	1,743

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて56百万円、「海外」セグメントにおいて14百万円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において70百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	758百万円	765百万円